

平成27事業年度

決 算 報 告 書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人鹿屋体育大学

(様式2-1)

平成27年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,297	1,446	149	(注1)
施設整備費補助金	157	172	16	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	38	33	△5	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	21	21	—	
自己収入	559	569	10	
授業料、入学料及び検定料収入	512	513	1	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	47	56	9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	30	119	89	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	45	45	(注7)
計	2,101	2,405	304	
支出				
業務費	1,856	2,017	161	
教育研究経費	1,856	2,017	161	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	178	193	16	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	38	32	△6	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	30	115	85	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,101	2,357	256	
収入-支出	—	47	47	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

- (注1) 運営費交付金については、主として退職手当の繰越があったため、予算額に比して決算額が149百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として統合型スポーツパフォーマンス分析システムの整備事業の交付決定があったため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、主として国立大学改革強化推進補助金の交付額が当初予定より少なかったため、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料収入の増加により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として26年度分消費税の還付があったため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が89百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初見込んでいなかった教育研究環境整備事業を実施したため、予算額に比して決算額が45百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、退職手当支給者数の増等により、予算額に比して決算額が161百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が85百万円多額となっています。